

## (1) 岡山大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	第1学期	2020年4月20日	～	2020年6月14日
	第2学期	2020年6月15日	～	2020年8月10日
	第3学期	2020年10月1日	～	2020年12月1日
	第4学期	2020年12月2日	～	2021年2月14日
試験期間	第1学期	2020年6月上旬		
	第2学期	2020年8月上旬		
	第3学期	2020年11月下旬		
	第4学期	2021年2月上旬		
授業時間	1限	8:40	～	9:40
	2限	9:50	～	10:50
	3限	11:00	～	12:00
	4限	12:50	～	13:50
	5限	14:00	～	15:00
	6限	15:10	～	16:10
	7限	16:20	～	17:20
	8限	17:30	～	18:30

※夜間主コースの授業については、第1, 第2学期を前期授業期間とし、第3, 第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

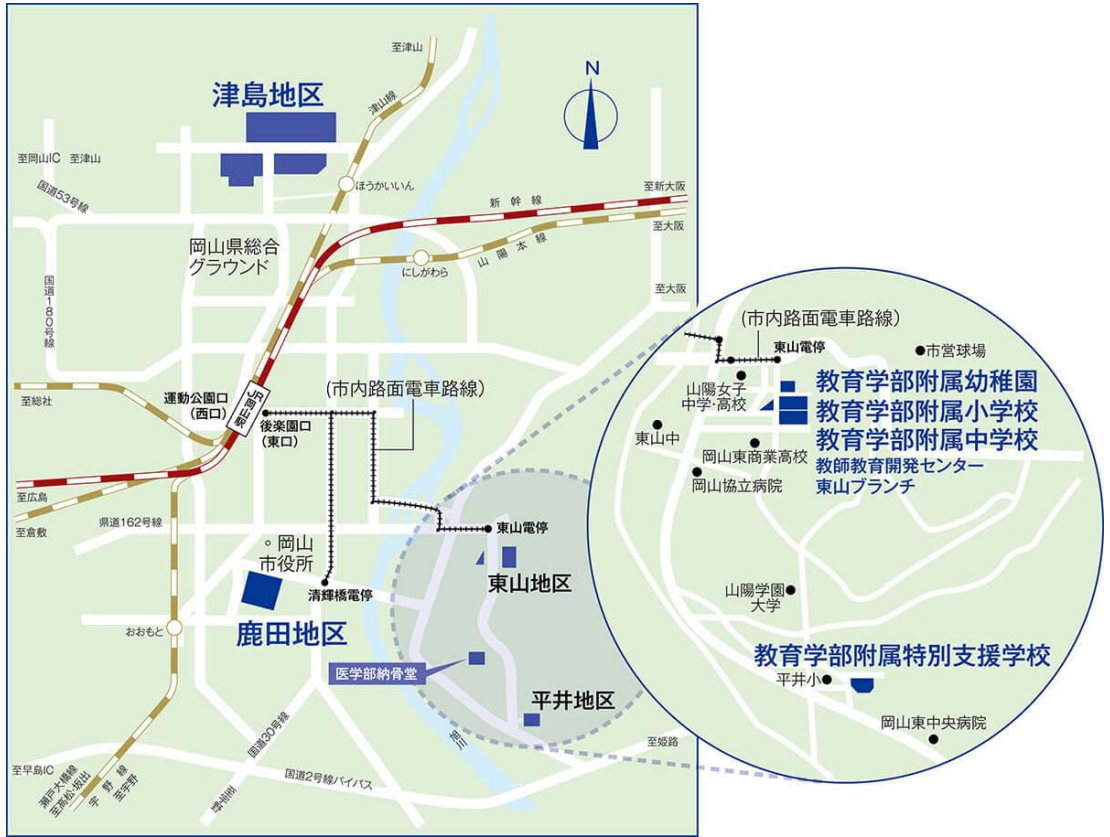
### ② アクセス(案内図)

#### 津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車, 徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。(所要時間約7～10分)  
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。  
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
  - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き【36】系統「辛香口」行き【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。(所要時間 バス約10分, 徒歩約7分)

#### 鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車、「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
- 路面電車  
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。(所要時間 電車約10分, 徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」  
 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地： 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階



津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設(ピーチユニオン) 大学会館	E4	学生総合支援センター学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成院 一般教育棟	E6	清水記念体育館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター	E5	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター障がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟			E8	第一武道館
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進センター 基幹教育センター			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話： 086-251-7186(直通)

#### ④ 開講大学からの連絡事項

##### ・ 履修申込期限

**第1・2学期:4月3日(金)15時まで 第3・4学期:9月25日(金)15時まで**

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。なお、対面授業科目の申込期限は延長しません。

##### ・ 履修手続

###### 対面授業科目を履修する方

1. 第1・2学期:4月8日, 第3・4学期:10月1日から, 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。

- ① キャンパスマップ (学務部学務企画課)
  - ② 学生証(単位互換履修生証) (学務部学務企画課)
  - ③ 自動車通学許可申請書類(希望者のみ) (学務部学務企画課)
2. 岡大ID・パスワード通知(希望者のみ) (情報統括センター)
3. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

##### ・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

#### ⑤ 各科目のシラバス

ホームページ シラバス掲載URL

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus\\_link.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)  
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

本講座は受講できません。

・対面授業科目

対面授業(教養教育科目)		01001	
授業科目名:キャリアデザインVI 専門スキルを身につける① 初級		担当教員氏名:坂入 信也	
Career Design VI -To acquire a special skill-			
履修年次 1~4	2単位	夏季集中	
<b>【授業の目的】</b> 専門的講習により SCUBA DIVING の C カード(オープンウォーター)取得を目的とするとともに、美しい自然とふれあい、心豊かな人生をおくるためのきっかけづくりとする。			
<b>【授業内容】</b>			
◆オリエンテーション 4月22日(水) 14:30~15:30 キャリア・学生支援室		◆プール実習 8月29日(土) 8:00~17:00 (岡山) 8月30日(日) 8:00~17:00 (岡山)	
◆講義 第1回 6月6日(土) 9:00~15:00 キャリア・学生支援室 第2回 7月4日(土) 9:00~15:00 キャリア・学生支援室		◆沖縄海洋実習 9月6日(日)岡山発、講義、最終試験 9月7日(月)海洋実習1日目 9月8日(火)海洋実習2日目 9月9日(水)減圧、岡山着	
◆認定式 10月中旬ごろ Cカード発行			
<b>【テキスト】</b> JULIA 又は JBDA、CMAS 等のテキスト			
<b>【参考図書】</b> 水中環境、水中生物、地球環境、潜水関連図書			
<b>【成績評価の方法】</b> 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。			

本講座は受講できません。

対面授業(教養教育科目)		01002	
授業科目名:キャリアデザインVI 専門スキルを身につける②中級		担当教員氏名:坂入 信也	
Career Design VI -To acquire a special skill-			
履修年次 1~4	2単位	夏季集中	
<b>【授業の目的】</b> 専門的講習により SCUBA DIVING の C カード(アドバンスド オープンウォーター)取得を目的とする とともに、美しい自然とふれあい、心豊かな人生をおくるためのきっかけづくりとする。			
<b>【授業内容】</b> ◆オリエンテーション 4月22日(水) 15:30~16:30 キャリア・学生支援室 ◆講義 第1回 6月6日(土) 15:00~18:00 キャリア・学生支援室 第2回 7月4日(土) 15:00~18:00 キャリア・学生支援室		◆プール実習 8月29日(土) 13:00~15:00 (岡山) 8月30日(日) 13:00~15:00 (岡山) ◆沖縄海洋実習 9月6日(日)岡山発、講義、最終試験 9月7日(月)海洋実習1日目 9月8日(火)海洋実習2日目 9月9日(水)減圧、岡山着 ◆認定式 10月中旬ごろ Cカード発行	
<b>【テキスト】</b> JULIA テキスト、配付資料			
<b>【参考図書】</b> 潜水関連図書			
<b>【成績評価の方法】</b> 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので 欠席は不可。			

対面授業(教養教育科目)				01003	
授業科目名: 金融経済学			担当教員氏名: 大熊 正哲		
Economics of Money and Banking					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2コマ	60 分×2(木曜 7・8 限)	
<b>【授業の目的】</b> 成熟した市民社会の担い手に相応しい金融経済リテラシーを身に付けること。					
<b>【授業内容】</b> 第 1 週 ガイダンス 第 2 週 経済学の基礎 第 3 週 履修者による報告と討議(1) 第 4 週 履修者による報告と討議(2) 第 5 週 履修者による報告と討議(3) 第 6 週 履修者による報告と討議(4) 第 7 週 履修者による報告と討議(5) 第 8 週 理解度の確認					
<b>【テキスト】</b> 家森信善 (2019) 『金融論(第 2 版)』中央経済社。					
<b>【参考図書】</b> 追って指示する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 岡山大学 WEB シラバス ( <a href="https://gs.okayama-u.ac.jp/ex/index.html">https://gs.okayama-u.ac.jp/ex/index.html</a> ) 参照のこと。					

対面授業(教養教育科目)				01004
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄 小林 雄志	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1単位	通年	1コマ	4月8日, 1月27日は必ず出席すること。授業は水曜日 18時40分より開始するので要注意。
<b>【授業の目的】</b> 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探求し, 理論と実践の融合をはかる。				
<b>【授業内容】</b> I 4月8日(水) オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室) II 下記の講義 1)~8)より 7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月22日(水) スポーツにおける膝関節に生じる問題について 2) 5月20日(水) スポーツが栄養で差が出る? ~種目とシーズン別の食事~ 3) 6月24日(水) オリンピックまでの失敗と成功(仮) 4) 7月15日(水) スポーツ歯科 5) 10月21日(水) スポーツと腰痛 6) 11月11日(水) スポーツメンタルトレーニングの効果と実践 7) 12月9日(水) スポーツテクニックの進化と後退について 8) 1月20日(水) スポーツと法 III 1月27日(水) まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室)				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 特になし				
<b>【成績評価の方法】</b> 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。				



対面授業(教養教育科目)			01005
授業科目名:韓国語中級		担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	1学期	2コマ 火 5.6 時限 各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修 願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出して ください。 1学期と2学期をセットで受講することが 望ましい。
<b>【授業の目的】</b> 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、 作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を 深める。韓国語で簡単な意思表示ができ、 易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
<b>【授業内容】</b> 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や 単語の習得: 各課に単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
<b>【テキスト】</b> プリント			
<b>【参考図書】</b>			
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(40%), 小テスト・授業への取 り組み・出席状況(60%)で、総合的に評 価する。			

対面授業(教養教育科目)				01006
授業科目名:韓国語中級				担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	2学期	2コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修 願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 1学期と2学期をセットで受講すること が望ましい。
<b>【授業の目的】</b> 韓国語の総合的学習(より多様な表現を 学び、作文などを行う)と、韓国文化に 関する理解を深める。韓国語で簡単な 意思表示ができ、易しい韓国語文書 を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
<b>【授業内容】</b> 第1~7回 : プリントによる韓国語の 文型や単語の習得: 各課に単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
<b>【テキスト】</b> プリント				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(40%), 小テスト・授業 への取り組み・出席状況(60%)で、 総合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01007
授業科目名:韓国語中級				担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3学期	2コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3学期と4学期をセットで受講することが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課に単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01008
授業科目名:韓国語中級				担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	4 学期	2コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課に単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目) ※専攻問わず受講可能				01009
授業科目名:舞台劇制作公演実践演習			担当教員氏名: 才土真司・佐々木紳・伊藤駿 ほか	
Practical exercise for Stage Play production				
履修年次 1~4	2単位	春季集中	1コマ	2月6日(土)~14日(日) 休日は内1日
<p><b>【授業の目的】</b> 本講義は、総合芸術である「演劇システム」を通して、一つの作品(演劇作品)を、多様な個性が在籍するチームで制作・運営する実践演習です。本講義のプログラムでは、クリエイティブ思考、批評精神を尊重し、異なる背景を持つ人材や外部団体などとの協働のなかで、多様な地域社会で、アートプロジェクトを企画・運営することで、社会的包摂などの社会課題を考察します。</p> <p><b>【新型コロナウイルスの影響で講義内容が大幅に変更する場合があります】</b> 講義はオンラインで行い、開催時期の感染、社会状況によっては、無観客で実施する可能性があります。または、舞台をオーディオムービー制作に変更します。</p> <p><b>【授業内容】</b> 岡山地域の芸術文化資源や歴史資料を題材に、オリジナル舞台劇を制作・公演します。企画と公演台本の基礎取材を行った上、演出の補佐、美術、衣装、音響、照明の各プランについて、担当教員、クリエイターの指導のもと、グループワーク形式で策定。本番公演では、策定したプランのオペレーション、スタッフワークを体験します。この過程で岡山の歴史と文化に触れ、「学際的な議論」を行い、カンパニー(劇団組織)の運営を、プロの技術者、地域の各種団体との「協働」により行います。</p> <p><b>日程</b> 2月6日(土)~15日(月) 10:00~ 1日7時間程度のプログラムを実施予定 岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall で講義。2月13日(土)・14日(日)は舞台劇本番 2月8日(月)は休講。ほか、休日を期間中の1日で設定予定。</p> <p><b>特記・注意点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義は日本語で行います。受講に際し、演劇等の表現活動や地域活動の経験は問いません。</li> <li>2. 遠隔地からの受講で岡山大学への通学が困難な場合は、書類選考の上、宿泊費の支援プログラムを実施致します。(支援プログラムを申請しない場合は書類選考はありません)</li> <li>3. 本講義及び、本番公演は、岡山大学大学院教育学研究科《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》の企画・主催により、岡山の企業や行政、各種団体のサポートを受け、開催されます。</li> <li>4. 担当教員は、岡山の芸術文化資源を活用したイベントの運営や、ショービジネス産業(首都圏)での企画開発を行っており、技術者もプロのクリエイターを招聘します。(詳細は本講座 HP を)</li> <li>5. 本講義では「予算管理」や「宣伝・広告物デザイン」に関するレクチャーは行いません。該当講義は、本講座が岡山大学で提供する別講義にて実施する予定です。</li> <li>6. 出演俳優は一般公募を夏頃に行う予定です。</li> <li>7. 本番公演を含む、本プロジェクトへの参加方法は、俳優、プロデュース部・宣伝部への参加などがあります。関心のある方、舞台制作に関わりたい方、技術の習得を目的としたい方は、メールにて別途、お問い合わせください。</li> <li>8. 6、7、8に関わる講義、活動は、大学コンソーシアムでの開講予定はございません。</li> <li>9. <b>【新型コロナウイルスの影響で講義内容が変更する場合があります】</b> 開催時期の社会、感染状況をみて無観客公演とする可能性があります。</li> </ol> <p>その他詳細、講座については下記 HP を参照ください。 国吉康雄研究講座ホームページ <a href="http://www.yasuo-kuniyoshi-pj.com/">http://www.yasuo-kuniyoshi-pj.com/</a></p>				
<p><b>【問い合わせ・連絡先】</b> 連絡はメールで行います。受講参加希望者は下記メールアドレスに 1.氏名 2.所属大学と学部(専攻等) 3.学年 4.希望セクション(演出・美術部、音響効果部、照明部)と、その理由を明記し、連絡をください。 担当:伊藤 s.ito@okayama-u.ac.jp</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 必要な資料、戯曲等は事前に配布します。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> プログラムへの関与度合い、発言、グループワーク、プロジェクトでの役割、成果物としての作品(舞台劇、照明、音効、美術等の計画)を評価対象とし、総合的に判断します。</p>				

対面授業(文学部)				01010
授業科目名:フランス語コミュニケーション1a			担当教員氏名:延味 能都	
Communication in French 1a				
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b> フランス語の会話・口頭表現について、絵を見ながら反復練習し、会話の基礎を身につける。フランス語の初歩的な運用能力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1週:動詞 être / 職業・身分を言う  第2週:形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う  第3週:第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う  第4週:疑問文の作りかた / 話せる言語を言う  第5週:動詞 avoir / 家族について話す  第6週:不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞/ 年齢を尋ねる, 言う  第7週:動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う  第8週:定冠詞, 形容詞の用法/ 理由をたずねる, 言う</p> <p>* ネイティブ TA の参加を得た場合はなるべく日本語を排した授業を行う予定。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  教科書:FLASH! Methode de francais 駿河台出版社 価格 2,400 円(CD 付)  販売店:生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み 30%(会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)、  宿題 30%、学期末試験 40%</p>				

対面授業(文学部)				01011
授業科目名:フランス語コミュニケーション1b			担当教員氏名:萩原 直幸	
Communication in French 1b				
履修年次 1	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b> フランス語の会話・口頭表現について、絵を見ながら反復練習し、会話の基礎を身につける。フランス語の初歩的な運用能力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1週:指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する  第2週:Il y a の構文/ 位置や場所を尋ねる・言う  第3週:関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する  第4週:指示形容詞 / 持ち主を言う  第5週:不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する  第6週:縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う  第7週:天候の表現 / 天候について話す  第8週:時刻の表現/ 時刻を尋ねる, 言う</p> <p>* ネイティブ TA の参加を得た場合はなるべく日本語を排した授業を行う予定。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  教科書:FLASH! Methode de francais 駿河台出版社 価格 2,400 円(CD 付)  販売店:生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み 30%(会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)、  宿題 30%、学期末試験 40%</p>				

対面授業(文学部)				01012
授業科目名: フランス語コミュニケーション2a			担当教員氏名: 延味 能都	
Communication in French 2a				
履修年次 1	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>  フランス語の会話・口頭表現について、絵を見ながら反復練習することで会話の基礎を身につける。  フランス語の基礎的な運用能力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1週: 部分冠詞 / 食習慣について話す  第2週: 中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う  第3週: 代名動詞 / 習慣について話す  第4週: 不規則動詞 / 日常の生活について話す  第5週: 直説法複合過去(1) / 過去のことを話す  第6週: 直説法複合過去(2) / 期間を言う  第7週: 直説法半過去 / 過去の習慣について話す  第8週: 人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  教科書: FLASH! Methode de francais 駿河台出版社 価格 2,400 円(CD 付)  販売店: 生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み 30%(会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)、  宿題 30%、学期末試験 40%</p>				



対面授業(文学部)				01013
授業科目名:フランス語コミュニケーション2b			担当教員氏名:萩原 直幸	
Communication in French 2b				
履修年次 1	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b> フランス語の会話・口頭表現について、絵を見ながら反復練習することで会話の基礎を身につける。フランス語の基礎的な運用能力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 第1週:不規則動詞 pouvoir, devoir/ できること・しなければならないことを言う 第2週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う, 許可を求める。 第3週:命令法 / 人を誘う・禁止する 第4週:近接未来 aller + 不定詞/ 近い未来の出来事について話す 第5週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す 第6週:条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる 第7週:条件法現在(2) / 願望を述べる 第8週:比較級 / 比較する</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 教科書:FLASH! Methode de francais 駿河台出版社 価格 2,400円(CD付) 販売店:生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 授業への取り組み 30%(会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)、 宿題 30%、学期末試験 40%</p>				

対面授業(教育学部)				01014	
授業科目名:対話による社会参画入門				担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction to Public Participation through a Conversation					
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(金曜7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会が抱える課題を発見し、その原因を探究したうえで、社会の構成員として問題解決に取り組もうとする意欲や態度を育成する。</li> <li>・行政やNPOなど地域社会の問題解決に取り組んでいる機関が果たしている役割等を明らかにするための調査や取材の方法を理解する。</li> </ul>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>*この授業は、時間割に定められた時間だけではなく、それ以外の時間に学外で自主的に活動する学習も含まれます。そのことを了解のうえ、受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義  第2回:社会参画の方法と目的  第3回:地域社会におけるNPOの役割  第4回:NPO活動の実際  第5回:地域課題発見ワークショップの目的  第6回:ワークショップの方法  第7回:ワークショップデザイン  第8回:地域調査の企画  第9回:聞き取り調査の方法と計画  第10回:行政への聞き取り調査  第11回:NPOへの聞き取り調査  第12回:市民への聞き取り調査  第13回:地域調査の成果の整理  第14回:成果報告会の準備  第15回:地域調査の成果報告会  第16回:成果報告会の振り返りと定期試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>オリジナルテキストを使用</p>					
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場』岩波新書</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>地域調査へ取り組む態度等(30点)、地域調査の成果報告(30点)、最終試験(40点)</p>					

対面授業(教育学部)				01015
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(基礎)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Method of Teaching for the social studies and Civics in a Secondary School(1)				
履修年次 2~4	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 一般的な社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。  2. 社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。  3. 様々な社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:一般的な社会科・公民科授業の特徴  第2回:一般的な社会科・公民科授業の問題点  第3回:授業分析の目的と方法  第4回:社会科・公民科のねらい—市民的資質育成論—  第5回:「政治・経済」(経済領域)の授業構成  第6回:「政治・経済」(経済領域)の授業分析  第7回:「政治・経済」(政治領域)の授業構成  第8回:「政治・経済」(政治領域)の授業分析  第9回:「現代社会」(環境問題)の授業構成  第10回:「現代社会」(環境問題)の授業分析  第11回:「現代社会」(人権問題)の授業構成  第12回:「現代社会」(人権問題)の授業分析  第13回:「倫理」の授業構成  第14回:「倫理」の授業分析  第15回:社会科・公民科授業構成の課題  試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年発行予定。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・桑原敏典『中等公民的教科目内容編成の研究—社会科公民の理念と方法—』風間書房、2004年。  ・桑原敏典『小学校社会科改善への提言』日本文教出版、2004年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  試験(90点)、受講態度(10点)を総合的に評価する</p>				

対面授業(教育学部)				01016
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Method of Teaching for the social studies and Civics in a Secondary School(2)				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 一般的な社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。  2. 社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。  3. 様々な社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:一般的な社会科・公民科授業の特徴  第2回:一般的な社会科・公民科授業の問題点  第3回:授業分析の目的と方法  第4回:社会科・公民科のねらい—市民的資質育成論—  第5回:「政治・経済」(経済領域)の授業構成  第6回:「政治・経済」(経済領域)の授業分析  第7回:「政治・経済」(政治領域)の授業構成  第8回:「政治・経済」(政治領域)の授業分析  第9回:「現代社会」(環境問題)の授業構成  第10回:「現代社会」(環境問題)の授業分析  第11回:「現代社会」(人権問題)の授業構成  第12回:「現代社会」(人権問題)の授業分析  第13回:「倫理」の授業構成  第14回:「倫理」の授業分析  第15回:社会科・公民科授業構成の課題  試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年発行予定。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・桑原敏典『中等公民的教科目内容編成の研究—社会科公民の理念と方法—』風間書房、2004年。  ・桑原敏典『小学校社会科改善への提言』日本文教出版、2004年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  試験(90点)、受講態度(10点)を総合的に評価する</p>				

対面授業(法学部)				01017
授業科目名:法と正義			担当教員氏名:大森 秀臣	
Law and Justice				
履修年次 3・4	2単位	後期	1コマ	90分(金曜10限)
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、法や正義をめぐる規範的な議論を検討することを通して、法や正義への根源的な問いを理解する能力や、それらへの多角的な視点を養うことを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は、「法の目指す正義とは何か」という問いについて、とくに現代の正義論を題材にして解説する。</p> <p>01 ガイダンス +法と正義  02 正義論概説—正義観念の多様性  03 正義論の思想史—近代における断絶  04 価値相対主義—規範的倫理学の復権まで  05 功利主義—最大多数の最大幸福  06 自由主義—ロールズの正義論  07 正義論の最前線—人道的介入、世界の貧困・格差  08 平等主義的リベラリズム—福祉国家の擁護論  09 リバタリアニズム—市場と自由の正義論  10 共同体論—アイデンティティと共通善  11 フェミニズム—ジェンダーと差異  12 多文化主義—文化的帰属と文化集団の多様性  13 自由主義の展開—3つのポスト自由主義  14 正義論の最前線—デモクラシー論  15 (小テスト:順不同)  16 期末試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  平井亮輔編『正義—現代社会の公共哲学を求めて』(嵯峨野書院、二〇〇四年)  瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  普段の取り組みを評価するために小テスト(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。</p>				

対面授業(理学部)				01018
授業科目名:分析化学1			担当教員氏名:金田 隆	
Analytical chemistry 1				
履修年次 1	1単位	第3学期	2コマ	60分×2(水曜3・4限)
【授業の目的】化学平衡は水溶液中の化学反応を理解する上で、重要な基礎的な概念である。本講義を通じて、学生は水溶液中で起こる反応を平衡定数を用いた計算により理論的に予測することができる。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:分析化学とは、化学量論の取り扱い 第2回:濃度の表示法、化学平衡と平衡定数 第3回:化学ポテンシャル、活量 第4回:酸と塩基 酸の種類、水のイオン積、強酸溶液のpH 第5回:酸と塩基 弱酸溶液のpH、水平化効果 第6回:酸と塩基 物質収支式、電荷収支式、プロトン収支式 第7回:酸と塩基 分率 第8回:酸と塩基 緩衝溶液の原理 第9回:酸と塩基 緩衝溶液の調製法 第10回:酸と塩基 多塩基酸の解離平衡 第11回:酸と塩基 多塩基酸の分率 第12回:酸と塩基 強酸—強塩基の滴定曲線 第13回:酸と塩基 弱酸—強塩基の滴定曲線 第14回:酸と塩基 弱塩基—強酸の滴定曲線 第15回:酸と塩基 指示薬と滴定誤差 定期試験				
<b>【テキスト】</b> 熊丸, 河嶋, 田端, 中野, 編著「基礎からの分析化学」(朝倉書店)				
<b>【参考図書】</b> 奥谷, 河嶋, 保母, 本水, 著「基礎教育分析化学」(東京化学社) H.Freiser, Q. Fernando 共著, 藤永太郎, 関戸栄一共訳「イオン平衡」(化学同人)				
<b>【成績評価の方法】</b> 小テストと宿題を課する。小テスト, 宿題, 試験により評価する。				

対面授業(理学部)				01019
授業科目名:分析化学2			担当教員氏名:金田 隆	
Analytical chemistry 2				
履修年次 1	1単位	第4学期	2コマ	60分×2(水曜3・4限)
<p>【授業の目的】  化学平衡は水溶液中の化学反応を理解する上で、重要な基礎的な概念である。本講義を通じて、学生は水溶液中で起こる反応を平衡定数を用いた計算により理論的に予測することができる。</p>				
<p>【授業内容】  第1回:錯体生成反応 逐次生成定数と全生成定数の定義  第2回:錯体生成反応 単座配位子の錯体における分率  第3回:錯体生成反応 配位子の解離についての副反応係数と条件安定度定数  第4回:錯体生成反応 金属イオンの錯形成についての副反応係数と条件安定度定数  第5回:錯体生成反応 キレート滴定  第6回:錯体生成反応 キレート滴定における金属指示薬  第7回:沈殿生成平衡 沈殿生成と溶解度積  第8回:沈殿生成平衡 溶解度積と溶解度の関係  第9回:沈殿生成平衡 共通イオン効果  第10回:沈殿生成平衡 副反応による溶解度の変化  第11回:沈殿生成平衡 沈殿滴定  第12回:沈殿生成平衡 沈殿滴定における指示薬  第13回:金属イオンの定性分析の定量的取扱い 塩化物と酸性で沈殿する硫化物  第14回:金属イオンの定性分析の定量的取扱い 水酸化物  第15回:金属イオンの定性分析の定量的取扱い 塩基性で沈殿する硫化物  定期試験</p>				
<p>【テキスト】  熊丸, 河嶋, 田端, 中野, 編著「基礎からの分析化学」(朝倉書店)</p>				
<p>【参考図書】  奥谷, 河嶋, 保母, 本水, 著「基礎教育分析化学」(東京化学社)  H.Freiser, Q. Fernando 共著, 藤永太郎, 関戸栄一共訳「イオン平衡」(化学同人)</p>				
<p>【成績評価の方法】  小テストと宿題を課する。小テスト, 宿題, 試験により評価する。</p>				

対面授業(医学部 保健学科)				01020
授業科目名:保健科学入門			担当教員氏名:齋藤 信也	
Introduction of Health Sciences				
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(火曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> 健康と病気の考え方, 健康管理, 疾病予防, 保健活動などについて, 社会情勢やトピックスを交えて学ぶ。 授業をとおして学生自身が, より健康な日常生活の実践を意識することにより, 保健医療従事者としての自覚と責任感を養う。				
<b>【授業内容】</b> ・発達する自己 ・大学生活とメンタルヘルス ・人間関係形成技術の基本 ・動脈硬化 ・医療放射線被曝 ・臓器移植 ・白血病と骨髄移植 ・院内感染 ・期末試験				
<b>【テキスト】</b> 特に指定しない。 必要があれば授業の中で資料を配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 評価方法は期末試験(筆記試験)による。				



対面授業(歯学部/教養教育科目)				01021																		
授業科目名:痛みの科学			担当教員氏名:宮脇卓也・他																			
Essays on pain																						
履修年次 1～4	1単位	第2学期	2コマ	60分×2(月曜1・2限)																		
<p><b>【授業の目的】</b>  痛みは生体に対する初期警告信号であり、誰もが日常で経験するが、過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序、様々な病態、最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し、日常の健康維持について考えることを目的としている。</p>																						
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 痛みの科学概説(1)</td> <td>10. 痛みの臨床(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 痛みの科学概説(2)</td> <td>11. 痛みの臨床(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 痛みの神経解剖学(1)</td> <td>12. 痛みの臨床(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 痛みの神経解剖学(2)</td> <td>13. 痛みの臨床(4)</td> </tr> <tr> <td>5. 痛みの神経生理学(1)</td> <td>14. 痛みの臨床(5)</td> </tr> <tr> <td>6. 痛みの神経生理学(2)</td> <td>15. 痛みの臨床(6)</td> </tr> <tr> <td>7. 痛みの神経薬理学(1)</td> <td>16. 痛みの科学のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 痛みの臨床(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)	2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)	3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)	4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)	5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)	6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)	7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ	8. 痛みの神経薬理学(2)		9. 痛みの臨床(1)	
1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)																					
2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)																					
3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)																					
4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)																					
5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)																					
6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)																					
7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ																					
8. 痛みの神経薬理学(2)																						
9. 痛みの臨床(1)																						
<p><b>【テキスト】</b>  必要に応じてプリント等を配布する。</p>																						
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に紹介する。</p>																						
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回授業終了時にレポート提出を課し、出席点と併せて総合評価する。</p>																						

※本講座は受講できません。

対面授業(薬学部/教養教育科目)				01022	
授業科目名:薬用植物学				担当教員氏名:谷口抄子	
Medicinal Botany					
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(火曜7・8限)	
<b>【授業の目的】</b> 植物の医療への利用について概説できる。植物の分類と成分との関係について概要を説明できる。主要な薬用植物の分類上の位置とその利用について説明できる。					
<b>【授業内容】</b> 植物は疾病の予防や治療に利用されてきた長い歴史があり、近代になってこれらに科学的な裏づけが加えられるようになるとともに、植物から得られた成分を元に多くの医薬品が生み出されてきている。本講義では薬用植物の医療への利用について概説する。					
<b>【テキスト】</b> 「最新薬用植物学」奥田拓男編(廣川書店)					
<b>【参考図書】</b> 「大系・薬用植物資源学」(京都廣川書店) 各種の植物図鑑等を参考にして、植物の形態や分類に関する学習を進めると良い。また、有機化学関係の書籍を参考にして、化合物群に共通の構造の理解を深めると良い。					
<b>【成績評価の方法】</b> <b>【評価方法・評価基準】</b> 講授業への取り組み状況(50%)およびレポート(50%) シヤトルカードに反映された授業内容への理解を含む。シヤトルカードには授業内容の要点を示すこと。授業内容の理解度の確認のためさらに演習問題をも行う。 <b>【評価者】</b> 授業担当教員 <b>【評価時期】</b> 学期末 <b>【ルーブリック】</b> 薬用植物学 <a href="http://owl.pharm.okayama-u.ac.jp/system/sbbs/kanpo/sr2_bbs_img/150_1.pdf">http://owl.pharm.okayama-u.ac.jp/system/sbbs/kanpo/sr2_bbs_img/150_1.pdf</a>					

対面授業(工学部/教養教育科目)				01023
授業科目名:機械システム系概論, 電気通信系概論, 情報系概論, 化学生命系概論				担当教員氏名:佐藤 治夫, 竹元 嘉利, 船曳 信夫, 深野 秀樹, 林 靖彦, 上原 一浩, 高橋 規一, 阿部 匡伸, 太田 学, 門田 暁人, 依馬 正, 岸本 昭, 井出 徹, 妹尾 昌治
Introduction to mechanical and system engineering, Introduction to Electrical and Communication, Introduction to Information Technology, Introduction to Chemistry and Bioengineering				
履修年次 1~4	2単位	第1学期	4コマ	60分×4 (水曜1・2限, 金曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>・機械システム系概論 機械システム系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握</p> <p>・電気通信系概論 (1) 自然と人類の共生の視点から電気通信系工学についての理解を深める。 (2) 電気電子工学の「もの」や「原理」を理解する。 (3) 通信ネットワークの「しくみ」を把握する。</p> <p>・情報系概論 情報系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握</p> <p>・化学生命系学科 化学から生命工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握及び, 化学生命系の工学における位置付けを理解する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>・機械システム系概論 機械ならびにシステムに関する概要を工学系の学生に分かりやすく紹介する</p> <p>・電気通信系概論 この講義では, 電気通信系工学の学問的基礎の導入とこの分野への広い興味を喚起する。具体的には, 電気通信系工学に関する基礎的概念とそれに根ざした先端の話題の紹介を通じて, 電気通信系工学の重要性を多面的, 多角的に学ぶ。</p> <p>・情報系概論 情報系の技術の基礎知識を学ぶとともに, 各研究分野における先端的な話題を聞いて情報系の学問を習得する意義と目的を理解する。</p> <p>・化学生命系学科 身のまわりの多種多様な有機・無機化合物や生命現象を題材に, その性質やしくみおよびその利用について化学の視点から理解し, 工学中における重要性を学ぶ。さらに生命工学とはどのような境界領域と考えればよいのかを学ぶと同時に最新の研究の意義と重要性を学ぶ。</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 適宜, 資料配付。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 適宜, 資料配付。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)</p>				

対面授業(環境理工学部)				01024	
授業科目名: 基礎物理化学			担当教員氏名: 木村幸敬		
Fundamental of Physical Chemistry					
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(金曜4・5限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 自然界で起こりうる現象の本質をとらえるためには物理化学という学問を修得することが必須である。そのためにまず、気体のマクロ的視点から得られる性質について学び、その体系を理解する。そして、気体を分子レベルで観た場合に得られる性質についてモデル化し、その体系を理解する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> 第1回: Boyle の法則, 気体の温度と体積の関係 第2回: 理想気体の状態方程式 第3回: 実在気体の PVT 関係, 臨界点 第4回: van der Waals 方程式 第5回: van der Waals 方程式とビリアル方程式 第6回: 分子運動論 第7回: 分子の熱エネルギー 第8回: 気体の自由度/試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 大門寛・堂免一成訳バーロー物理化学(上)第6版(東京化学同人)</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 藤代亮一訳ムーア物理化学(上)第4版(東京化学同人)</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席を前提とし、数回のレポートと試験により評価する。配点は、レポート2割5分およびテスト7割5分とする。</p>					

対面授業(農学部)			01025																																									
授業科目名: 農場体験実習			担当教員氏名: 齊藤 邦行																																									
Experience of Farm Practice																																												
履修年次 1~4	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																																								
<b>【授業の目的】</b> 農学部附属山陽圏フィールド科学センターに宿泊して、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。																																												
<b>【授業内容】</b> 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ksaitoh@以下はokayama-u.ac.jp)に直接メールにて問い合わせして下さい。 8月7日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。 2. 実習経費として、宿泊費、食費(7食)、交流会費用、生活用品費として5,000円を徴収します。 3. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月28,29,30日)、以下のような要領で実習を行います。 1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。 2)教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。 3)実習日程(詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する)																																												
<table border="0"> <thead> <tr> <th>9月28日(月)</th> <th>9月29日(火)</th> <th>9月30日(水)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00-15:00 野菜の管理</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:15-15:45 移動(津高)</td> <td>9:00-9:30 移動(岡山)</td> <td>9:00-11:00 草地の管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16:00-17:00 牛舎実習</td> <td>9:30-12:00 果樹の管理</td> <td>11:30-12:00 移動(岡山)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17:30-18:30(講義)岡山県の農業</td> <td>13:00-15:00 ブドウの収穫・品質</td> <td>13:00-15:00 稲刈り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td>15:15-15:45 移動(津高)</td> <td>15:00-15:30 レポート作成</td> <td>16:00-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 牛舎実習</td> <td>16:00 解散</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:30-18:30(講義)岡山県の果樹</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					9月28日(月)	9月29日(火)	9月30日(水)		10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理		13:00-15:00 野菜の管理	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食		15:15-15:45 移動(津高)	9:00-9:30 移動(岡山)	9:00-11:00 草地の管理		16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動(岡山)		17:30-18:30(講義)岡山県の農業	13:00-15:00 ブドウの収穫・品質	13:00-15:00 稲刈り		18:30-19:30 夕食	15:15-15:45 移動(津高)	15:00-15:30 レポート作成	16:00-		17:00 牛舎実習	16:00 解散			17:30-18:30(講義)岡山県の果樹				18:30-19:30 夕食		
9月28日(月)	9月29日(火)	9月30日(水)																																										
10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理																																										
13:00-15:00 野菜の管理	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食																																										
15:15-15:45 移動(津高)	9:00-9:30 移動(岡山)	9:00-11:00 草地の管理																																										
16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動(岡山)																																										
17:30-18:30(講義)岡山県の農業	13:00-15:00 ブドウの収穫・品質	13:00-15:00 稲刈り																																										
18:30-19:30 夕食	15:15-15:45 移動(津高)	15:00-15:30 レポート作成	16:00-																																									
	17:00 牛舎実習	16:00 解散																																										
	17:30-18:30(講義)岡山県の果樹																																											
	18:30-19:30 夕食																																											
<b>【テキスト】</b> 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。																																												
<b>【参考図書】</b> 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1																																												
<b>【成績評価の方法】</b> 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。																																												

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01026						
授業科目名 : Culture and Illness			担当教員氏名 : 上杉 健志							
Culture and Illness			Takeshi Uesugi							
履修年次 1～	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(木曜1限, 2限)						
<b>【授業の目的】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Understand some of the key concepts in medical anthropology.</li> <li>・ Learn to take notes (lectures and discussions)</li> <li>・ Learn to generate discussion questions and lead the discussion</li> <li>・ Learn to write a book review</li> </ul>										
<b>【授業内容】</b> <p>Is epilepsy a neurological disorder or a sign of blessing? Are brain dead individuals really dead? Is a fetus a person? Is a parasite part of our body? Is shamanism a hoax? Are chemical manufacturers “poisoners”? In this class we re-consider what seems like natural categories such as life and death, or body and disease, via cross-cultural examinations of medical beliefs.</p> <p>Students will be exposed to various case studies from around the world in which cultural differences in medical beliefs have led to conflicts, and learn basic concepts and ways of thinking in medical anthropology.</p>										
<b>【テキスト】</b> <p>Anne Fadiman, 1997. Spirit Catches You and You Fall Down: A Hmong Child, Her American Doctors, and the Collision of Two Cultures. Farrar, Strauss and Giroux.</p>										
<b>【参考図書】</b> <p>Living and Working with the New Medical Technologies: Intersections of Inquiry, M. Lock, A. Young, and A. Cambrosio, eds., pp.233–262. Cambridge: Cambridge University Press.</p> <p>Hacking, Ian. 2002. Historical Ontology, Harvard University Press.</p> <p>Fanon, Franz. 1966. Wretched of the Earth. pp. 203–255. New York: Grove Press</p> <p>Cohen, Lawrence , 2000. No Aging in India: Alzheimer’s, the Bad Family, and Other Modern Things, University of California Press.</p>										
<b>【成績評価の方法】</b> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="width: 30%;">30 %</td> </tr> <tr> <td>Book Review</td> <td>30 %</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td>40 %</td> </tr> </table>					Participation	30 %	Book Review	30 %	Final Exam	40 %
Participation	30 %									
Book Review	30 %									
Final Exam	40 %									

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム/教養教育科目)				01027
授業科目名: Introduction to Development Studies			担当教員氏名: 山本 由美子	
Introduction to Development Studies			Yumiko Yamamoto	
履修年次 1～	1単位	第1学期	2コマ	60分×2(金曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  Students will learn the different facets of development and discuss the key development issues and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understand and discuss 'development,' drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health and nutrition among others.</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  This is an introductory course on development studies, with a focus on a development discourse in the postwar period. The course is designed for the students who wish to work in the fields of international development or international business in the future. Other students who are willing to obtain basic knowledge in development are encouraged to attend as well. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or in other regions. In the course, we discuss various development agenda related to economic development, human development, and sustainable development.</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  No textbooks. Journal articles and book chapters will be assigned each week (see below).</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i>. UK: Pearson.  United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i>. NY: UN.  United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i>. NY: UN.  UNESCAP. 2019. <i>The 2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i>. Bangkok: UNESCAP.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Active participation 20%,  Short weekly assignments 50%,  Research project 30% (paper 20%, presentation 10%)</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム/教養教育科目)				01028
授業科目名: Current Political Events			担当教員氏名: 大澤 貴美子	
Current Political Events			Kimiko Osawa	
履修年次 1~	1 単位	第 2 学期	2 コマ	60 分×2(月曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> - Get to know what is going on in the world with specific focus on political events. - Think about the political events to expand one's perspective and deepen one's understanding of the world. - Gain some basic knowledge of political science.				
<b>【授業内容】</b> We are going to learn about current political events and discuss and analyze some of them that the students are particularly interested in.				
<b>【テキスト】</b> We are mainly going to read news articles.				
<b>【参考図書】</b> Non				
<b>【成績評価の方法】</b> - Participation in class discussion: 50% - Final presentation: 30% - Final paper: 20%				



対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01029
授業科目名: Innovation and Entrepreneurship			担当教員氏名: 青尾 謙	
Innovation and Entrepreneurship			Ken AOO	
履修年次 1~	2 単位	第 3 学期	4 コマ	60 分 × 2 (火・水曜 5・6 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  Currently "Innovation", "Entrepreneurship", and "Social Innovation" which are based on the former two concepts are all commonly used terms. However, the understanding of those concepts are diverse. This class aims to acquire a basic understanding of all three concepts. The class will take a mixture of different learning methods including lecture, discussion, and group works. Active participation of the students are required.</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  Basic structure of the class is lecture / group discussion (Tuesdays) and case studies / group work (Wednesdays). However, the class will take other formats including student presentations if needed. Please consult with the lecturer if you require any special arrangement. The contents of the class shall be discussed and agreed at the first week, but should include the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Innovation (definition, Schumpeter, Drucker, Christensen, technology and business innovations, historical development and examples)</li> <li>- Entrepreneurship (definition, Yunus, social entrepreneurship and social enterprise, historical development and examples)</li> <li>- Social Innovation (definition, background, EU and Obama administration, historical development and examples)</li> <li>- Case studies (disruptive innovation, Chinese innovation, microcredit, environmental pollution, and cases from Okayama, etc.)</li> </ul>				
<p><b>【テキスト】</b>  The lecture will provide presentation slides. No textbook is required.</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Drucker, P. Innovation and Entrepreneurship.; Christensen, C. The Innovator's Dilemma: When new technologies cause great firms to fail; Nicholls, A. (ed.) Social Entrepreneurship: New models of sustainable social change; Mulgan, G. Social Innovation: How societies find the power to change. Others will be specified during the course.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Evaluation will be made on the assignments and presentations (60%) and other contributions in the class (40%).</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム/教養教育科目)				01030						
授業科目名: Global Sociology: Understanding Diversity			担当教員氏名: 宮川 陽名							
Global Sociology: Understanding Diversity			Haruna Miyagawa							
履修年次 1~	1 単位	第 3 学期	2 コマ	60 分 × 2 (木曜 5 限 & 6 限)						
<p><b>【授業の目的】</b>  By acquiring sociological sensibilities and methodologies, students will be able to examine contemporary issues of the world from multiple vantage points. They will be able to deal with various real life challenges by nurturing “the vivid awareness of the relationship between experiences and the wider society” (Mills 1959).</p>										
<p><b>【授業内容】</b>  This is an introductory course on sociology with a global perspective. In this course, students will learn the basic sociological concepts such as stratification, class, inequality, globalization, ethnicity, race, gender, family, socialization, social interaction, networks, institutions, conformity, and deviance by exploring a novel, <i>Make Your Home Among Strangers: A Novel</i> by Jennine Capó Cruet as well as other resources. The goal of this course is to explore “diversity” through the lens of global sociology.</p>										
<p><b>【テキスト】</b>  Giddens, Anthony, Mitchell Duneier, Richard P. Applebaum, and Deborah Carr. 2017. <i>Essentials of Sociology</i> 6th Edition. New York, NY: W.W. Norton &amp; Company.</p> <p>Cruet, Jennine Capó. 2015. <i>Make Your Home Among Strangers: A Novel</i>. New York, NY: Pan Books Ltd</p>										
<p><b>【参考図書】</b>  Bauman, Zygmunt and Tim May. 2001. <i>Thinking Sociologically</i>, 2nd Edition. Oxford, UK: Blackwell Publishing.</p> <p>Mills, C. Wright. 1959. <i>Sociological Imagination</i>. Oxford, UK: Oxford University Press.</p> <p>Contexts: <i>Understanding People in Their Social Worlds</i>, a magazine published by the American Sociological Association.</p>										
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <table> <tr> <td>Reflection Papers (2)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Discussions and Participation</td> <td>30 %</td> </tr> <tr> <td>Final Exam</td> <td>40 %</td> </tr> </table>					Reflection Papers (2)	30%	Discussions and Participation	30 %	Final Exam	40 %
Reflection Papers (2)	30%									
Discussions and Participation	30 %									
Final Exam	40 %									

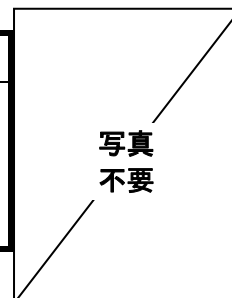
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科	年	
学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：第1, 第2学期：4月3日(金)15時まで 第3, 第4学期：9月25日(金)15時まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
<del>01001</del>	<del>キャリアデザインVI 専門スキルを身に つける①初級</del>	<del>教養</del>	<del>坂入 信也</del>	<del>2</del>	<del>夏季 集中</del>	<del>1~4</del>		<del>講義 6/6,7/4 実習 8/29,30 9/6,7,8,9</del>		
<del>01002</del>	<del>キャリアデザインVI 専門スキルを身に つける②中級</del>	<del>教養</del>	<del>坂入 信也</del>	<del>2</del>	<del>夏季 集中</del>	<del>1~4</del>	<del>オープンウォーターダイバーの 資格を既に取得していること。</del>	<del>講義 6/6,7/4 実習 8/29,30 9/6,7,8,9</del>		
01003	金融経済学	教養	大熊 正哲	1	第4 学期	1~4		木 16:20~18:30		
01004	健康・スポーツ科学 C	教養	鈴木 久雄 小林 雄志	1	1~4 また がり	1~4		水 18:40~20:00		
01005	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせて 受講することが望ましい。	火 14:00~16:10		
01006	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2 学期	1~4		火 14:00~16:10		
01007	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3 学期	1~4		火 14:00~16:10		
01008	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4 学期	1~4		火 14:00~16:10		
01009	舞台劇制作公演実践 演習	教養	才士 真司 佐々木 紳 伊藤 駿	2	春季 集中	1~4		集中講義 (2/6~2/14)		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
01010	フランス語コミュニケーション 1a	専門	延味 能都	1	第1学期	1	フランス語コミュニケーション 1b と合わせて履修してください。	火 8:40～10:50		
01011	フランス語コミュニケーション 1b	専門	萩原 直幸	1	第2学期	1	フランス語コミュニケーション 1a と合わせて履修してください。	火 8:40～10:50		
01012	フランス語コミュニケーション 2a	専門	延味 能都	1	第3学期	1	フランス語コミュニケーション 2b と合わせて履修してください。	火 8:40～10:50		
01013	フランス語コミュニケーション 2b	専門	萩原 直幸	1	第4学期	1	フランス語コミュニケーション 2a と合わせて履修してください。	火 8:40～10:50		
01014	対話による社会参画入門	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1～4		金 16:20～18:30		
01015	中等社会科・公民科授業開発(基礎)	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2～4		月 8:40～10:50		
01016	中等社会科・公民科授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2～4		月 8:40～10:50		
01017	法と正義	専門	大森 秀臣	2	後期	3・4		金 19:40～21:10		
01018	分析化学1	専門	金田 隆	1	第3学期	1	分析化学2 と合わせて履修してください。	水 11:00～12:00 12:50～13:50		
01019	分析化学2	専門	金田 隆	1	第4学期	1	分析化学1 とあわせて履修してください。	水 11:00～12:00 12:50～13:50		
01020	保健科学入門	専門	齋藤 信也	1	第1学期	1	若干名 (場所:保健学科棟 301 室)	火 8:40～10:50		
01021	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1～4		月 8:40～10:50		
<del>01022</del>	<del>薬用植物学</del>	<del>教養</del>	<del>谷口 抄子</del>	<del>1</del>	<del>第1学期</del>	<del>1</del>		<del>火 16:20～18:30</del>		
01023	機械システム系概論 電気通信系概論 情報系概論 化学生命系概論	教養	佐藤 治夫 他	2	第1学期	1～4	水曜日及び金曜日の両方を受講すること。	水金 8:40～10:50		
01024	基礎物理学	専門	木村 幸敬	1	第1学期	1～4		金 12:50～13:50 14:00～15:00		
01025	農場体験実習	専門	齊藤 邦行	1	夏季集中	1～4	●開催場所:岡山大学 農学部山陽圏フィールド 科学センター 定員 15 名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	夏季集中 宿泊研修 (9/28～30, 3 日間)		
01026	Culture and Illness	専門	上杉 健志	1	第1学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	木 8:40～9:40 9:50～10:50		
01027	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	金 14:00～15:00 15:10～16:10		
01028	Current Political Events	教養	大澤 貴美子	1	第2学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月 11:00～12:00 12:50～13:50		
01029	Innovation and Entrepreneurship	専門	青尾 謙	2	第3学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	火水 14:00～15:00 15:10～16:10		
01030	Global Sociology: Understanding Diversity	教養	宮川 陽名	1	第3学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	木 14:00～15:00 15:10～16:10		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚